

醒めた砂

岡嶋宏和

ザラメみたいな風の吹く 淡い陽だまりに
どうしてか触れなかった あなたの髪がなびく

ひとの前で 無防備に眠るのに
独りになると何を想うの？

増えたゼロハンテープが 隠したポスターの滲み

つかみ損ねた空

そのどこか痛い青の中

あなたと破った約束

今でも欠片を探している

慣れちゃいないんだ僕たちは あの日からずっと
視界に渦巻く 後悔の歌に

忘れたくて走るんだ だれでも良い 声が欲しい
思い出で埋まらない 心の穴に

お姫様の手をつかむ 澄んだ英雄譚の夢

曖昧に二度寝を誘うから 寝覚めの寂しさが夜を鳴らす

あなたの唇が誘った クジラに会える水族館
今更に断る理由を探しているのでしょうか

手放したはずの日常